

ばい煙測定結果

平成30年4月

桑名広域環境管理センターでは、し尿処理施設から出るばい煙の検査を2か月に1回実施しています。

(平成29年度)

項目	残渣焼却炉				乾燥炉		
	ばいじん濃度	硫黄酸化物濃度	窒素酸化物濃度	塩化水素濃度	ばいじん濃度	硫黄酸化物濃度	窒素酸化物濃度
単位	g/m ³ N	ppm	ppm	mg/m ³ N	g/m ³ N	ppm	ppm
基準	0.15以下	193以下	250以下	700以下	0.2以下	53.1以下	230以下
5月	0.003	44	110	50未満	0.010	1.0未満	18
7月	0.002 未満	6	52	50未満	0.013	1.0未満	25
9月	0.003	1.0	91	50未満	0.017	1.0未満	16
11月	0.005	4	88	50未満	0.006	1.0未満	22
1月	0.002 未満	26	140	50未満	0.005	2	18
3月	0.002 未満	3	140	50未満	0.005	1.0	22

【環境用語の解説】

ばいじん	工場・事業所から発生する粒子状物質のうち、燃料その他の物の燃焼時に伴い発生する物質をいいます。
硫黄酸化物	硫黄を含んだ重油・石炭などの燃焼施設から硫黄酸化物として発生します。
窒素酸化物	物が燃える際には、空気中の窒素や物に含まれる窒素化合物が酸素と結合して窒素酸化物が必ず発生します。発電所や工場のボイラー及び自動車のエンジンなど高温燃焼の際に一酸化窒素が発生し、これはまた酸化されて安定な二酸化窒素となり大気中に排出されます。通常、この一酸化窒素と二酸化窒素とを合わせて窒素酸化物と呼びます。
塩化水素	塩素と水素との化合物で、刺激性臭気がある無色の気体です。